○ 市民病院部の約束

・ 市民病院部事務部長の基本姿勢

市立三次中央病院は、備北二次医療圏の中核病院として、急性期医療及び高度医療を担っています。市民に安全安心な医療を提供していくため、地域の医療機関がそれぞれの役割を分担して連携する「地域完結型医療」を取り組みます。また、市民に継続的に医療サービスを提供していくため、経営の健全化に取り組みます。

【平成24年度を振り返っての市民病院部事務部長コメント】

かかりつけ医との病診連携がうまく機能しており、紹介率・逆紹介率ともに順調に推移しています。経営面では平成16年から黒字決算を続けており、年々黒字額が増えています。

・ 病院企画課の約束

安心安全な医療体制の整備と、病院事業の健全経営を堅持します。

【約束の達成状況等コメント】

黒字経営を堅持しており、看護体制を手厚くして、医療サービスの一層の充実を図ります。

・ 医事課の約束

患者サービスの向上と医業収益確保に積極的に取り組みます。

【約束の達成状況等コメント】

専任の職員を配置し患者相談業務の充実を図った。医業収益確保に努め、医療費未収金収納率については現年分0.5%、滞納繰越分8%の増となりました。